

2023年12月発売



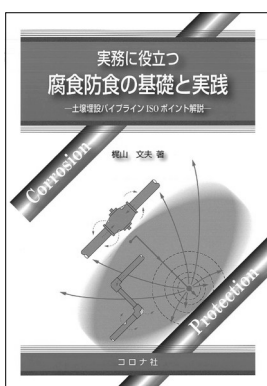
腐食抑制剤の基礎と応用

—高分子化合物を中心に—

湯浅 真 著/A5判/184頁/定価3,300円



冷却水系、ボイラー系のような水誘導装置系で多く用いられている腐食抑制剤（腐食インヒビター）について、高分子化合物類を中心に、その作用機構も含めて解説する。また、環境問題の観点から水質と金属腐食の関係についても触れる。



実務に役立つ

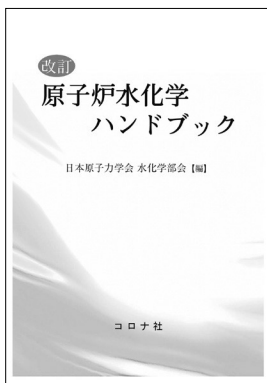
腐食防食の基礎と実践

—土壌埋設パイプラインISOポイント解説—

梶山文夫 著/A5判/176頁/定価2,970円



化学、電気化学、電気工学、土壌学、微生物学の広範な分野に跨る土壌に埋設されたパイプラインの腐食防食について、実務に役立つようその基礎と実践を解説。土壌埋設パイプラインに関するISO国際規格の解説も意識的に取り入れた実務者必携の一冊。



改訂

原子炉水化学ハンドブック

日本原子力学会 水化学部会 編/B5判/398頁/定価12,100円



発行から約20年が経過した初版の記載内容を見直しつつ最新の情報へ更新した。さらに基礎編では核分裂生成物の挙動に関する章を、応用編では福島第一原子力発電所の事故を受けた水化学技術に関する章を新たに追加した。

腐食メカニズムと余寿命予測

三浦健蔵 著/B5判/158頁/定価3,080円

長時間使用された機器・構造物における事故は構成部材の劣化によるものであり、腐食あるいは腐食が関与した疲労、摩耗が主な事故原因である。本書では実機製品における損傷事例を紹介し、事故解析のポイントをわかりやすく解説した。

安全工学便覧（第4版）

安全工学会 編/B5判/1,192頁/定価41,800円

本改訂では、新たな科学・技術の進歩に伴う事項や社会の変化に対応するために必要な項目を更新。特に安全マネジメント、リスクアセスメント、原子力設備の安全などは多くを新たに書き起こした。安全工学関係者の総力を結集した便覧。

